

1. 事業の位置付け

事務事業名	外国籍市民支援事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	外国籍市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 市民・通訳翻訳ボランティア】		
目的・目標		事業の概要	
生活相談窓口の充実や通訳派遣、生活ガイドブックの配布など、外国籍市民が暮らしやすい環境が整備されています。		日本語があまり理解できないことにより、日常生活に支障を来している外国籍市民への支援のため、生活相談窓口の充実、通訳ボランティアの派遣、生活ガイドブックの配布などを進めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	生活相談窓口通訳派遣回数			単位	回
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	45	48	48		
	実績	48	47	46		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	生活相談窓口利用者数			単位	人
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	160	160	160		
	実績	193	275	334		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価					
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>□ 受益者負担、補助額</li> <li>□ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>□ その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>□ コスト削減の可能性</li> <li>□ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>■ その他</li> </ul>	外国籍市民が増加、定住化傾向にある中、外国籍市民が求めている生活支援は多岐に及ぶことから、事業の必要性は高いです。	外国籍市民のための生活相談窓口への通訳派遣や各言語での公的なお知らせの翻訳などの事業は多文化共生社会の発展や外国籍市民の支援のためにも継続的に行うことが必要です。	日本語が十分に理解することができないために日常生活に支障をきたしている外国籍市民も少なくなく、本事業の妥当性は高いです。	市はコーディネートを担当し、通訳翻訳は地域に生活しているボランティアに依頼することで地域の実情に合った通訳翻訳者を派遣していきます。
有効性	● 高 ○ 低	● 高 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低				
妥当性	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低				
効率性	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低	● 高 ○ 中 ○ 低				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		生活相談窓口、通訳ボランティア派遣など	生活相談窓口、通訳ボランティア派遣など	生活相談窓口、通訳ボランティア派遣など
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	818	1,207	914
事業費 (A)		818	1,207	914
執行率 (%)		66.72	98.45	74.55
内訳	職員 (人)	0.10	0.40	0.50
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		840	3,357	4,178
フルコスト (A+B)		1,658	4,564	5,092

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -
	主な取組と成果	生活相談窓口へのスペイン語、ポルトガル語の通訳ボランティアの派遣や英語、ポルトガル語の生活ガイドブックの改訂版をはじめ8言語のガイドブックの配布、各種行政関連の文書の翻訳などを行い、外国籍市民が暮らしやすい環境づくりを進めた。	生活相談窓口へのスペイン語、ポルトガル語の通訳ボランティアの派遣やスペイン語、中国語の生活ガイドブックの改訂版をはじめ8言語のガイドブックの配布、各種行政関連の文書の翻訳などを行い、外国籍市民が暮らしやすい環境づくりを進めました。	生活相談窓口へのスペイン語、ポルトガル語の通訳ボランティアの派遣やハンゲル版生活ガイドブックの改訂版をはじめ8言語のガイドブックの配布、各種行政関連の文書の翻訳などを行い、外国籍市民が暮らしやすい環境づくりを進めました。
検証結果		A: 成果があがった	A: 成果があがった	A: 成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		通訳翻訳ボランティアの増員。現在派遣している生活相談窓口への通訳以外の言語通訳の派遣など更なる事業の充実が必要。	通訳翻訳ボランティアの増員。現在派遣している生活相談窓口への通訳以外の言語通訳の派遣など更なる事業の充実が必要です。	通訳翻訳ボランティアの増員。現在派遣している生活相談窓口への通訳以外の言語通訳の派遣など更なる事業の充実が必要です。

1. 事業の位置付け

事務事業名	外国籍市民ネットワークづくり支援事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・外国籍市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 市民・外国籍市民・自治会など】		
	目的・目標		事業の概要
外国籍市民相互の連携、外国籍市民と市民及び行政との連携が図られています。		外国籍市民、市民、行政とのネットワーク化を進めるため、コーディネーターの育成や情報交換会、交流会などを開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	情報交換会・交流会開催日数			単位	回
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	3	7	7		
	実績	3	8	6		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	情報交換会・交流会への参加人数			単位	人
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	15	25	80		
	実績	61	81	89		
成果指標②	指標名	-			単位	-
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標		-	-		
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 上位施策への貢献</li> <li>□ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	市内在住の外国籍市民が増加する中で、外国籍市民同士及び市民と外国籍市民との連携は今後不可欠なものであり、必要性は高いです。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>□ 受益者負担、補助額</li> <li>□ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>■ その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>□ コスト削減の可能性</li> <li>□ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>■ その他</li> </ul>	情報交換会や交流会等を継続的に開催していくことにより、外国籍市民、市民、自治会等相互の理解を深め、協力し合う地域づくりを進めていきます。	● 高 ○ 低
妥当性			外国籍市民が日本語を十分理解できなかったり、生活習慣の違いがあったりと、地域や市民とのコミュニケーションがうまくできないことがあるため、情報伝達手段の形成としてネットワーク作りが妥当であります。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性			市がコーディネートを主に担当し、市民及び外国籍市民の自主性を尊重し、協働により事業活動を進めます。	● 高 ○ 中 ○ 低

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		コーディネータの人選、交流会などの開催	コーディネータの育成、交流会などの開催	コーディネータの育成、交流会などの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	74	25
事業費 (A)		0	74	25
執行率 (%)		0.00	37.00	8.33
内訳	職員 (人)	0.50	0.65	0.55
	再任用 (人)	0.10	0.00	0.05
人件費 (B)		4,539	5,455	4,769
フルコスト (A+B)		4,539	5,529	4,794

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -	②: 若干遅れている 言語別代表者の日程調整がつかず、情報交換会議が開催できませんでした。
	主な取組と成果	ネットワーク化に向けて外国籍市民や市民ボランティアとの情報交換会や交流会を開催し、ネットワーク化への理解が得られた。	ネットワーク化に向けて外国籍市民や市民ボランティアとの情報交換会や交流会を開催し、ネットワーク化への理解が得られました。	ネットワーク化に向けて外国籍市民や市民ボランティアとの情報交換会や研修会を開催し、ネットワーク化への理解が得られました。
検証結果		A: 成果があがった	A: 成果があがった	A: 成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		ネットワーク化には外国籍市民相互や外国籍市民と自治会などとの連携役となるコーディネータが必要となることから、順次育成していく。また、情報交換会や地域との交流会なども開催していくが、連携を高めていくには、外国籍市民や自治会員等の地域住民の理解と協力が必要である。	ネットワーク化には外国籍市民相互や外国籍市民と自治会などとの連携役となるコーディネータが必要となることから、順次育成していきます。また、情報交換会や地域との交流会なども開催していくが、連携を高めていくには、外国籍市民や自治会員等の地域住民の理解と協力が必要です。	ネットワーク化には外国籍市民相互や外国籍市民と自治会などとの連携役となるコーディネータが必要となることから、順次育成していきます。また、情報交換会や地域との交流会なども開催していくが、連携を高めていくには、外国籍市民や自治会員等の地域住民の理解と協力が必要です。